

## 目次

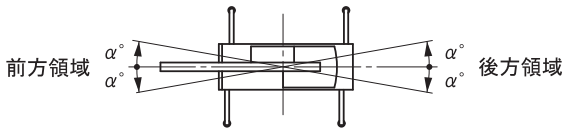
主要諸元	1
定格総荷重表注意事項	2
作業範囲図	3
定格総荷重表	
メインブーム	4
19.6m ブーム+4.0m パワージブ	5
19.6m ブーム+5.8m パワージブ	5
28.0m ブーム+4.0m パワージブ	6
28.0m ブーム+5.8m パワージブ	6
定置つり	7
走行つり	7
最小通路軌跡図	8
全体図	9
全体図	10



## ■ 定格総荷重表注意事項

### ● アウトリガ使用時

1. 定格総荷重表は水平堅土上において機体を水平に設置した状態での保証できる最大荷重を示しており、ブーム作業時は主フックとつり具、ジブ作業時は補フックとつり具の質量を含んだ値です。【20tフック（質量150kg）、3.2tフック（質量60kg）】  
 部分は機械の強度によって、他は機体の安定度によって定められています。
2. 作業半径はブーム、ジブのたわみを含んだ実際の値にもとづいていますので、必ず作業半径を基準として作業を行ってください。
3. ジブの作業半径は19.6mまたは28.0mブームにジブを装着して作業を行った場合の値です。19.6mを超え28.0m未満のブーム長さでのジブ作業は、作業半径ではなく28.0mブームの角度を基準としてください。また、19.6m未満のブーム長さでのジブ作業は、作業半径ではなく19.6mブームの角度を基準としてください。
4. アウトリガ最縮小張出では、ジブ作業を行わないでください。
5. アウトリガ張出状態によって側方領域でのつり上性能は異なります。従って各々の張出状態における定格総荷重表で作業を行ってください。また、前方、後方領域でのつり上性能はアウトリガ最大張出の定格総荷重表でそれぞれ作業を行ってください。



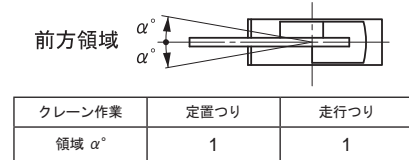
アウトリガ張出状態	中間張出(4.8m)	中間張出(4.3m)	中間張出(3.2m)	最縮小張出
領域 α°	30	20	15	3

6. ルースタシーブの定格総荷重は、ブームの定格総荷重よりブームに取付けられているフックその他のつり具の質量を差引いた値とし、かつ限度を3200kgとします。【ルースタシーブ使用フック：3.2tフック（質量60kg）巻掛本数1】
7. ブーム長さ、ブーム角度、作業半径およびジブ角度が規定の値をこえる場合にはその規定の値と、次の規定の値の定格総荷重のうち小さい方の定格総荷重を目安として作業を行ってください。
8. ジブを装着したままブーム作業を行う場合の定格総荷重は、ブームの定格総荷重よりフックその他のつり具等の質量の他に、1500kgを差引いた値とし、かつ上限を10tとします。なおジブを装着したままでのルースタシーブ作業、およびアウトリガ最縮小張出におけるジブを装着したままでのブーム作業は行わないでください。
9. 各々の作業状態におけるブーム危険角度は表のとおりです。ブームを危険角度以下にしますと無負荷でも転倒しますので充分注意してください。
10. 各ブーム長さに対する標準フック巻掛本数は表のとおりです。ただし標準巻掛本数以外の掛数で使用する場合は、ワイヤロープ1本当たり28.4kN（2.9tf）を限度としてください。
11. 高速ウインチ作業は、フックのみで使用してください。また急激なレバー操作はさけてください。
12. アウトリガ最縮小張出状態は、H型アウトリガ付機にのみ適用します。
13. クレーン作業は風速 10m/sまで可能ですが、比較的弱い風の場合でも受風面積の大きい荷重を取扱う場合は特別な注意を払ってください。

14. 定格総荷重をこえる作業を行った場合、および正しい使い方を行わなかった場合は転倒または破損します。この場合本機の保証はいたしません。

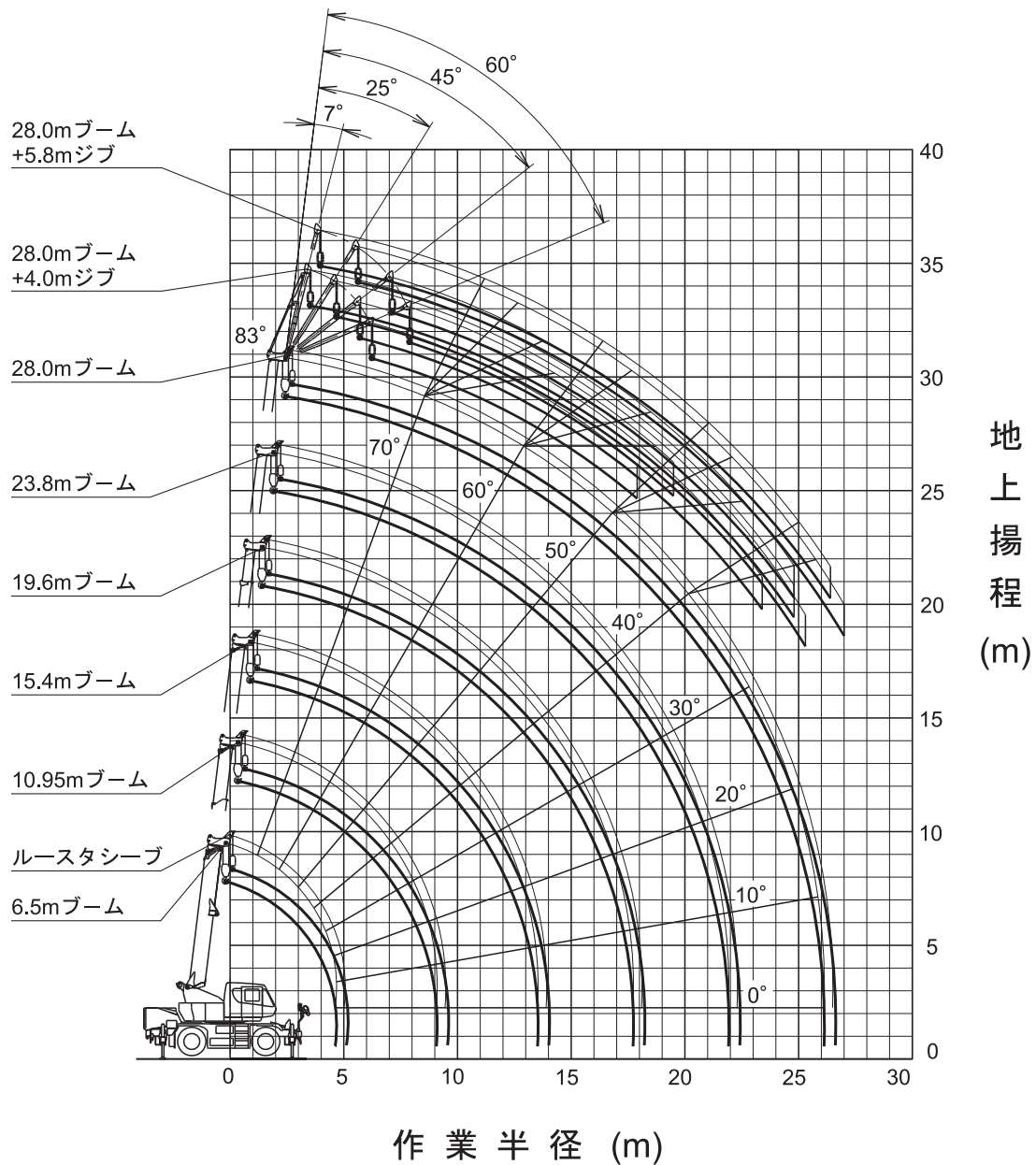
### ● アウトリガ不使用時

1. 定格総荷重表は、水平堅土上においてタイヤの空気圧が規定圧で、かつサスペンションシリンダを最縮小にした場合に本機の保証できる最大荷重を示しており、主フックとつり具の質量を含んだ値です。  
 部分は機械の強度によって、他は機体の安定度によって定められています。  
 【タイヤ規定空気圧：900kPa（9.00kgf/cm<sup>2</sup>）】
2. 作業半径はブームのたわみを含んだ実際の値にもとづいていますので、必ず作業半径を基準として作業を行ってください。
3. 前方性能と全周性能とは定格総荷重が異なります。前方領域から側方領域へ旋回する場合には、過荷重になるおそれがありますので充分注意してください。



4. ルースタシーブの定格総荷重は、ブームの定格総荷重よりブームに取付けられているフックその他のつり具の質量を差引いた値とし、かつ限度を3,200kgとします。【ルースタシーブ使用フック：3.2tフック（質量60kg）巻掛本数1】
5. ブーム長さ19.6mをこえるブーム作業、およびジブ作業は行わないでください。
6. 定置つり作業はパーキングブレーキを効かせ、同時にブレーキロックを掛けた状態で行ってください。
7. 走行つりはハイ・ロー切換スイッチを“ON”（ローレンジ）、シフトレバーを1速にして行ってください。
8. 走行つりは荷が振れないように地面近くに保持し、2km/h未満にて行ってください。  
特にコーナリング、急発進、急制動に注意してください。
9. 走行つり中にはクレーン作業は行わないでください。また旋回ブレーキを必ず掛けてください。
10. ブーム長さおよび作業半径が規定の値をこえる場合にはその規定の値と、次の規定の値の定格総荷重のうち小さい方の定格総荷重を目安として作業を行ってください。
11. 各々の作業状態における危険角度は表のとおりです。ブームを危険角度以下にしますと無負荷でも転倒しますので充分注意してください。
12. 各ブーム長さに対する標準フック巻掛本数は表のとおりです。ただし標準巻掛本数以外の掛数で使用する場合は、ワイヤロープ1本当たり28.4kN（2.9tf）を限度としてください。
13. 高速巻下作業は、フックのみを降下するときに使用してください。また急激なレバー操作はさけてください。
14. クレーン作業は風速 10m/sまで可能ですが、比較的弱い風の場合でも受風面積の大きい荷重を取扱う場合は特別な注意を払ってください。
15. 定格総荷重をこえる作業を行った場合、および正しい使い方を行わなかった場合は転倒または破損します。この場合本機の保証はいたしません。

■作業範囲図



- (注意)
- 1) 本図はブーム、ジブのたわみを含んでいません。
  - 2) 本図はアウトリガ最大張出(全周)のものです。









## 定置つり・走行つり

### ■アウトリガ不使用時

作業半径 (m)	定置つり								走行つり (2km/h未満)								作業半径 (m)	
	6.50mブーム		10.95mブーム		15.4mブーム		19.6mブーム		6.50mブーム		10.95mブーム		15.4mブーム		19.6mブーム			
	前方	全周	前方	全周	前方	全周	前方	全周	前方	全周	前方	全周	前方	全周	前方	全周		
3.0	4.50	2.40	4.50	2.40	4.50	2.40	4.50	2.95	4.30	2.15	4.30	2.15	4.10	2.15	4.10	2.65	3.0	
3.5	4.00	1.85	4.00	1.85	4.00	1.85	4.50	2.35	3.90	1.65	3.90	1.65	3.90	1.65	4.10	2.10	3.5	
4.0	3.50	1.40	3.50	1.40	3.50	1.40	4.00	1.95	3.40	1.25	3.40	1.25	3.40	1.25	3.70	1.75	4.0	
4.5	3.20	1.10	3.20	1.10	3.20	1.10	3.60	1.60	3.00	0.90	2.95	0.90	2.95	0.90	3.35	1.40	4.5	
5.0			2.85	0.80	2.85	0.80	3.25	1.30			2.55	0.65	2.55	0.65	3.00	1.15	5.0	
5.5			2.50	0.55	2.50	0.55	2.90	1.05			2.25	0.40	2.25	0.40	2.65	0.90	5.5	
6.0			2.20	0.35	2.20	0.35	2.60	0.85			1.95		1.95		2.35	0.70	6.0	
6.5			1.95		1.95		2.35	0.70			1.70		1.70		2.10	0.50	6.5	
7.0			1.70		1.70		2.15				1.50		1.50		1.90		7.0	
8.0			1.30		1.30		1.75				1.10		1.10		1.55		8.0	
9.0						1.00	1.40						0.80		1.25		9.0	
10.0						0.75	1.10						0.35		0.95		10.0	
11.0						0.50	0.90								0.50		11.0	
12.0						0.30	0.70										12.0	
13.0							0.50										13.0	
14.0							0.40										14.0	
危険角度	—	—	25°	41°	25°	60°	36°	66°	—	—	25°	46°	40°	61°	50°	66°	危険角度	
標準フック	20tフック								20tフック								標準フック	
フック質量	150kg								150kg								フック質量	
巻掛本数	4								4								巻掛本数	

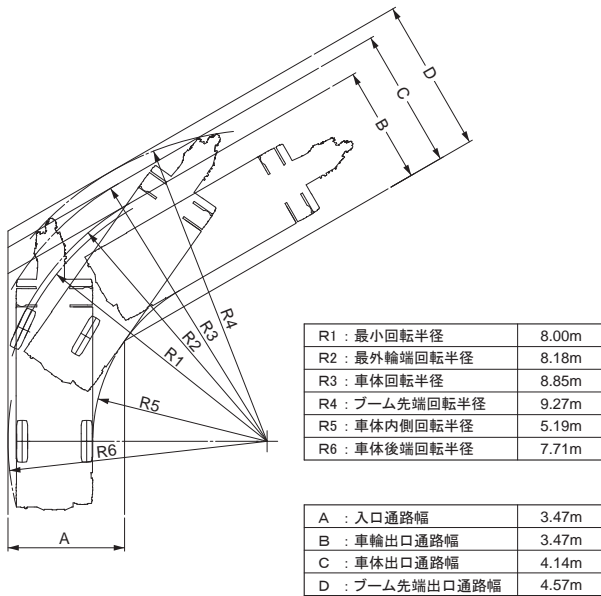
(単位 : ton)



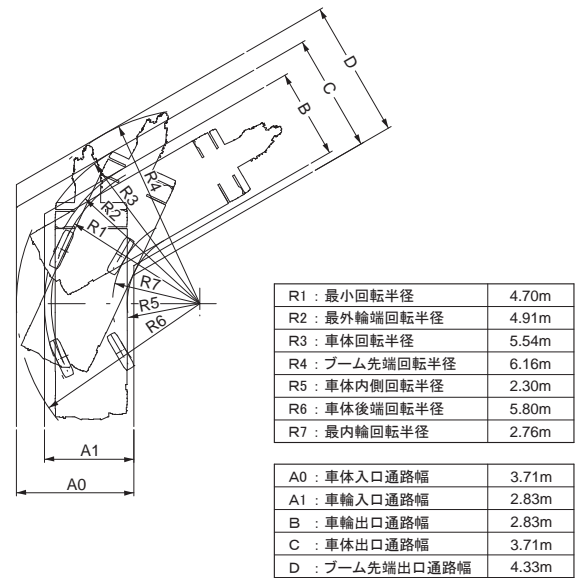
# 最小通路軌跡図

● 60°

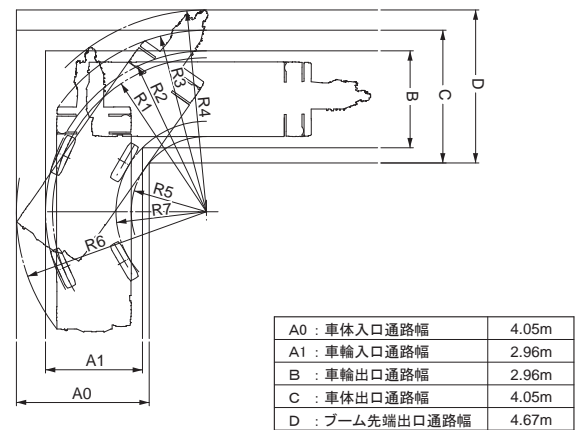
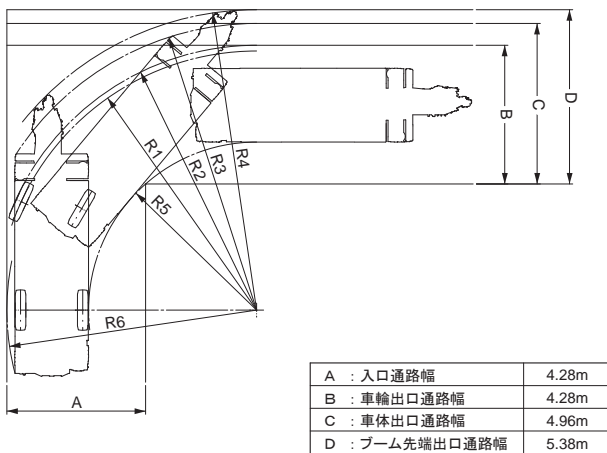
2輪ステアリングで右折する場合



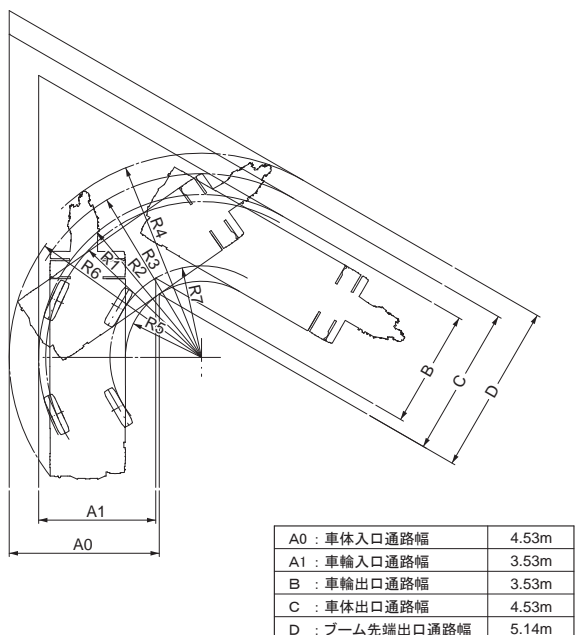
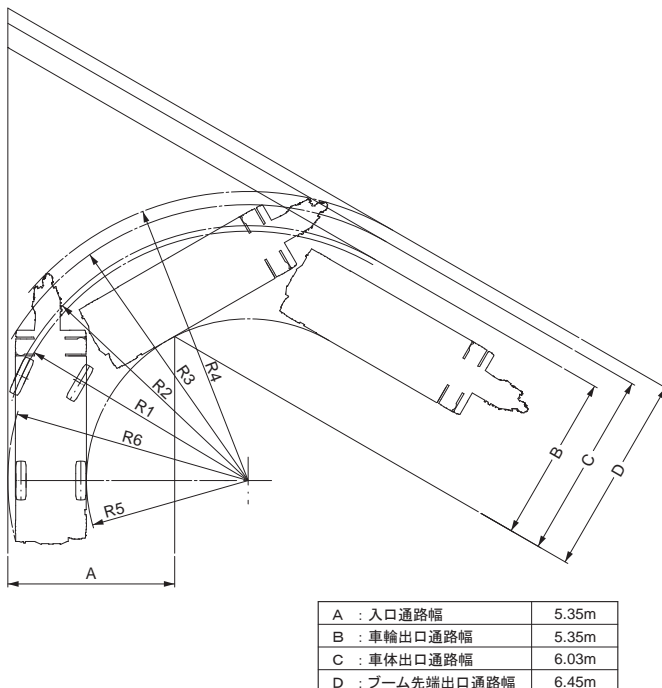
4輪ステアリングで右折する場合(構内移動)



● 90°

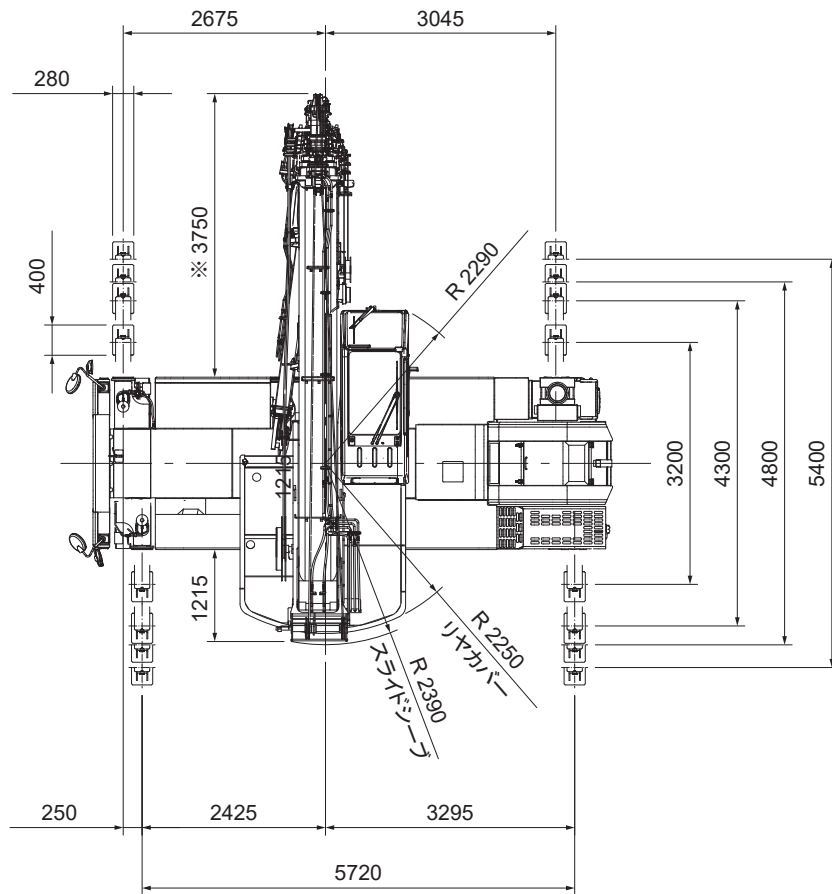
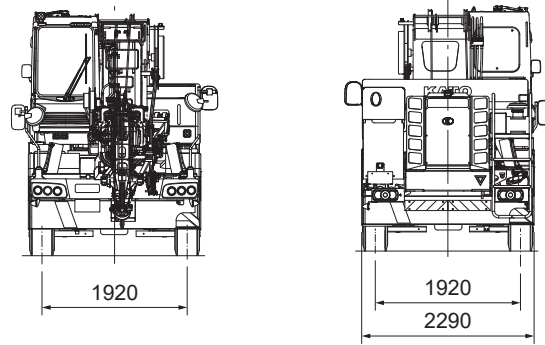


● 120°



(注) 上記の数値は計算値です。

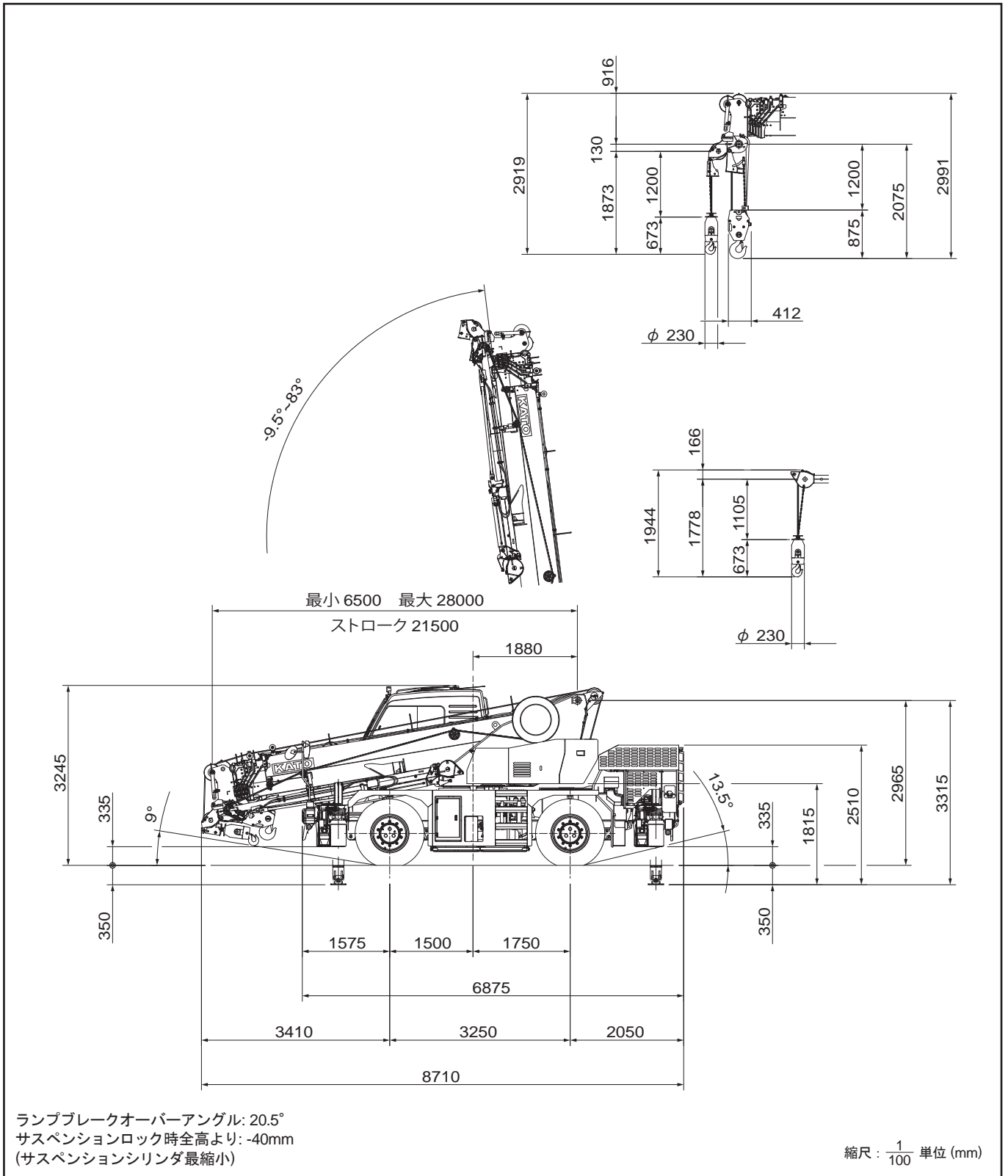
■ 全体図



※ ブーム水平時寸法

縮尺 :  $\frac{1}{100}$  単位 (mm)

■全体図



※本カタログに記載されております性能ならびに仕様は、改良などによりお届けいたします製品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせは…

**KATO** 株式会社 **加藤製作所**

本社 / ☎140-0011 東京都品川区東大井1丁目9番37号  
 ☎03 (3458) 1111番 (大代表)  
 ホームページアドレス <http://www.kato-works.co.jp>

**C04411**  
 4.2017-2000 (TI) 1  
 4.2021-WEB (TI) 1-1-1